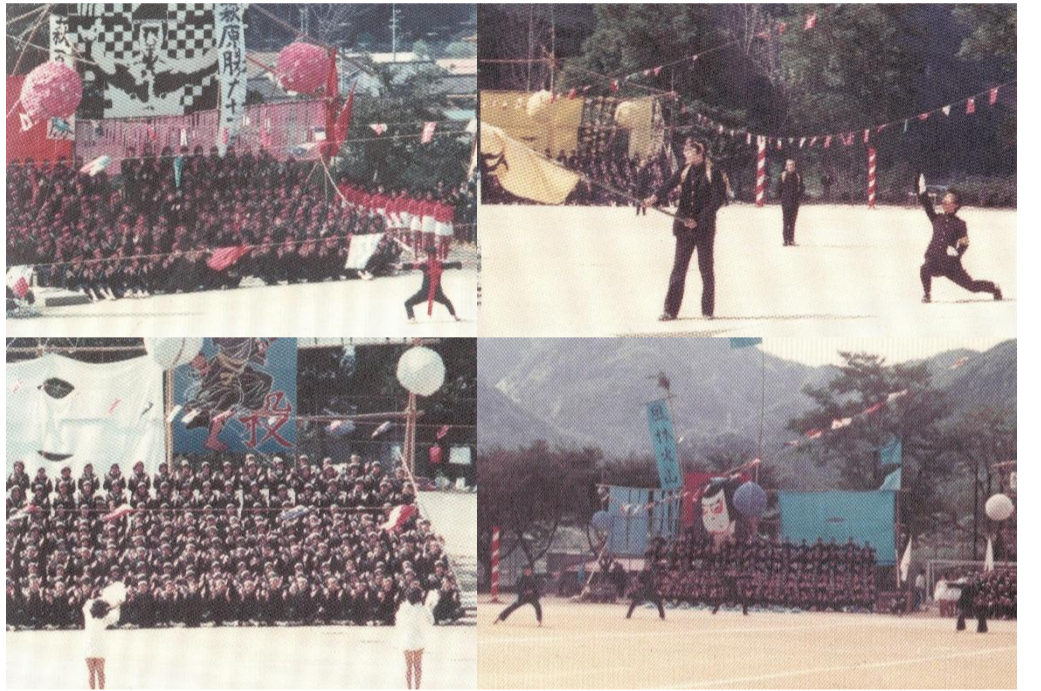


昭和23年～平成3年

益高体育祭の変遷

創立以来、学校行事のみならず地域のイベントとして親しまれてきた体育祭は平成3年で終了、球技大会に変更となりました。

創立50周年体育祭(昭和48年)

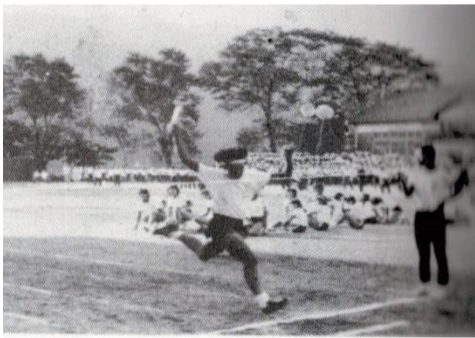


強行された体育祭(昭和53年)

校舎の新築工事によって、3年間行なうことができなかった体育祭が行われることになった。しかし、体育祭前日から雨が降り続き、学校側は中止としたが、生徒たちの強い盛り上がり収まらず、生徒たちだけで体育祭の開催が強行された。



優勝した青団の応援



体育祭を終えて

生徒会長 老田 力男

四年ぶりの体育祭を計画するにあたり、一学期に行なった意識調査は全体80パーセント以上が反対という結果であった。しかし、体育祭は、学校の行事として計画されており、生徒会が協力するという事になり、実行委員会が組織され、地区別に団が編成された。実行委員は放課後、活発に活動し、応援団の人達も、声がかれるまで練習し、計画や準備は思ったよりスムーズにいったと思う。

さて、いよいよ九月二十一日。前日の夕方からの小雨が降り続き開催が危ぶまれたが、天候回復を見込んでの強行となった。この時の反省として考えた事は、学校側の判断がもっと早くなされるべきであったという事と、自分達としては、冷静に行動すべきだったという事である。また、開会式以後の進行が思ったよりスムーズに行なわれ、全体の雰囲気は団ごとに高まっただけに、朝のことが残念で今後の重要な改善点であると思う。

体育祭を見ての感想は、選手になった人も、応援の人も、それぞれ、その人なりの力をだし、ほかにトラブルもななく行なわれ、よかった。応援合戦には、団結の強さが表われ、すばらしいものであったと思う。来年度への要望は、文化祭とも合わせ、時期を考えてほしいという事と、今年より、よりよい方向への発展を目標としてもらいたいものである。

以上述べたように、改良点や不十分なことはあったけれど、体育祭実行委員の人たちの努力と、生徒会全体のもりあがり、四年ぶりに体育祭をおこ

なったことは、よい体験となり、思い出を一つ増やしたのである。
育友会報「広報しました」より

益高最後の体育祭(平成3年)

体育祭は地区対抗(4地区または3地区)で行われてきた。
平成4年に生徒会が中心となって、体育祭の見直しをした結果、クラス対抗の球技大会に変更となる。



